

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
作業療法概論		OSP11-001	必修	2	1	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
小沢 健一 他		C305	k-rozawa		火曜日 12:00~13:00	
授業の目的・概要	作業療法を学んで行く上での基本的な枠組みを理解し、これからの学習に向けて展望を持つことができるようになることを目的とする。授業は講義に加えて ICF を用いた評価プロセスの体験、作業療法の実際を聴講できる機会を織り交ぜて展開する。また講義終了後は、確認テストを行い知識の定着をはかる。					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (講義中に随時質疑応答を進める)					
学習上の助言	作業療法の奥深さに興味を持ち、今後学んでいく他の講義が作業療法の学習につながるようになってほしい。					
教科書	標準作業療法学 専門分野「作業療法学概論」第4版：能登真一 編，医学書院 2021 ICF 国際機能分類 一国際機能分類改訂版一 編：障害者福祉研究会 中央法規出版 2008 「2冊指定」					
参考書	特になし					
外部教材	日本作業療法士協会ビデオ資料、日本作業療法士協作業療法ガイドライン					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	作業療法を平易な言葉で説明できる。				RH (1)~(3)	
②	作業療法にとっての「作業」の意味を説明できる。				RH (1)~(3)	
③	作業療法の基本的な考え方と過程を説明できる。				RH (1)~(3)	
④	作業療法の歴史的経過を説明できる。				RH (1)~(3)	
⑤	今後の学習の見通しをもつ。				RH (5)	
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	作業とは何かを理解する。	[担当] 小沢	講義	事前学習として教科書の該当箇所 (p1-14) を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4	
2	作業療法の歴史と原理を学ぶ。	[担当] 小沢	講義	事前学習として教科書の該当箇所 (p15-26) を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4	
3	作業療法に関連する予備知識。	[担当] 小沢	講義	事前学習として教科書の該当箇所 (p27-39) を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4	
4	作業療法の実践現場を学ぶ。	[担当] 小沢	講義	事前学習として教科書の該当箇所 (p40-48) を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4	
5	作業の分析と治療的応用を学ぶ	[担当] 小沢	講義	事前学習として教科書の該当箇所 (p49-73) を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4	
6	作業療法の理論を学ぶ。	[担当] 小沢	講義	事前学習として教科書の該当箇所 (p74-83) を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4	
7	医療倫理を学ぶ。	[担当] 小沢	講義	事前学習として教科書の該当箇所 (p85-96) を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4	
8	作業療法の教育体系を学ぶ。	[担当] 小沢	講義	事前学習として教科書の該当箇所 (p97-108) を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4	

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療学科】

9	EBM と作業療法について学ぶ。	[担当] 小沢	講義・演習	事前学習として教科書の該当箇所 (p109-119) を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4
10	作業療法の実践課程－ICF の活用方法を学ぶ。	[担当] 小沢	講義・演習	事前学習として教科書の該当箇所 (p143-166) を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4
11	身体機能分野における作業療法の概略を学ぶ。	[担当] 岡	講義	事前学習として教科書の該当箇所 (p167-181) を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4
12	身体機能分野における作業療法の概略を学ぶ。	[担当] 向山	講義	事前学習として教科書の該当箇所 (p167-181) を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4
13	発達過程分野における作業療法の概略を学ぶ。	[担当] 渡辺	講義	事前学習として教科書の該当箇所 (p196-211) を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4
14	高齢期分野における作業療法の概略を学ぶ。	[担当] 榎田	講義	事前学習として教科書の該当箇所 (p212-227) を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4
15	地域リハ分野における作業療法の概略を学ぶ。	[担当] 浅野	講義	事前学習として教科書の該当箇所 (p212-227) を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4

試	定期試験 達成度評価・評価ポイントを参照				
---	----------------------	--	--	--	--

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		90	0	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	10	80
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	学期末の定期試験(筆記試験)を実施して評価する。(90%) 試験は、授業で学んだ教科書、資料等に基づく問題を出題し、理解度を問う。問題(回答)形式は、記述・穴埋め・選択式である。	試験は各自に返却し、解説する。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療法学科】

ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	授業終了後の確認テストは、評価対象とする。(10%)	テストを終了後、課題返却により解説していく。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥			
備 考				
他 担 当 教 員	榎田 哲弥、浅野 克俊、岡 猛、渡辺 俊太郎、向山 秀			
教員の実務経験	担当教員は作業療法士として 10 年以上の臨床経験がある。			
実践的授業の内容	臨床における最新情報とともに、その専門性を生かして学生に教授する。			
そ の 他	授業時には課題ダウンロードや動画視聴などがあるので、通信容量制限がある場合には通信量に十分注意すること。 講義終了後、Microsoft forms を使用し、確認テストを行う。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によりシラバスの変更がありうる。			